

## 災 害 状 況 明 細 書

加 入 者 番 号				加 入 者 氏 名	被扶養者の有無	被扶養者有の場合は 同居・別居の別	
県コード	学種	学校番号	個人番号				
					有 ・ 無	同居・別居	
住	加入者の住居	1 自 宅	総 面 積	m <sup>2</sup>	家屋の時価	円	
		2 借 家	被 害 面 積	m <sup>2</sup>	家屋の損害額	円	
		3 借 間	構 造	木 造		形 態	平 屋
		4 そ の 他 ( )		鉄 骨			
			その他 ( )		集合住宅 (居住階数 階)		
	別居被扶養者の住居	1 自 宅	総 面 積	m <sup>2</sup>	家屋の時価	円	
		2 借 家	被 害 面 積	m <sup>2</sup>	家屋の損害額	円	
		3 借 間	構 造	木 造		形 態	平 屋
4 そ の 他 ( )		鉄 骨		二階建			
		その他 ( )			集合住宅 (居住階数 階)		
居  部 の	災 害 の 原 因		災 害 の 状 況				
	(各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)						
	加入者の住居平面図						
別居被扶養者の住居平面図		(各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)					
		住所 〒 .....					
		被扶養者の氏名 .....					
		加入者との続柄 .....					

	品名	総数量	時価	被害数量	損害額	備考 (全焼・半焼・補修等の説明)		
			円		円			
家財の部								
	計		円		円			
浸水状況	床上浸水	土砂流入の程度	床上浸水期間	最高水位を示した日				
	cm	cm	日間 時間	5 令	年	月	日	
上記のとおり事実と相違ないことを報告します。								
令和 年 月 日 (フリガナ) 加入者氏名								
上記の報告は、事実と相違ないものと認めます。								
令和 年 月 日 学校法人等名 代表者名								

記入上の注意

- 被扶養者が別居している場合は、加入者及び被扶養者の住居・家財をそれぞれ別々に評価してください。
- 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格を記入してください。
- 家財は損害を受けなかったものもすべて記入してください。
- 加入者及び被扶養者が所有している家財が対象となります。なお、加入者が被扶養者以外の者と所有している家財があれば、備考欄にその旨を記入してください。

# 災害状況明細書

この明細書は災害見舞金の請求をするときに添付するものです。

## 住居の部（左面）

### ■記入上の注意

1. 住居とは、所有権の有無にかかわらず加入者が日常生活を行っている建物をいいます。(別棟の離れ屋、物置、門、塀等含まれません)
2. 災害を受けた住居・家財がその後使用可能となった場合は損害に含みません。
3. 住居・家財の修理費用は損害には含みません。

加入者証に記載されている加入者番号を記入してください。

日本私立学校振興・共済事業団

災害状況明細書									
加入者番号			加入者氏名		被扶養者の有無		被扶養者有の場合は同居・別居の別		
県コード	学種	学校番号	個人番号			有	無		
1	2	A	015200123	北村 彰		○	無	同居・別居	
加入者の住居	1	自宅	総面積	109㎡		家屋の時価	25,000,000円		
	2	借家	被害面積	41.3㎡		家屋の損害額	9,000,000円		
	3	借間	構造	木造		形態	平屋		
	4	その他	鉄骨			形態	二階建		
		( )	その他	( )		形態	集合住宅(居住階数 階)		
別居被扶養者の住居	1	自宅	総面積	㎡		家屋の時価	円		
	2	借家	被害面積	㎡		家屋の損害額	円		
	3	借間	構造	木造		形態	平屋		
	4	その他	鉄骨			形態	二階建		
		( )	その他	( )		形態	集合住宅(居住階数 階)		
居	災害の原因			隣家からの出火による類焼。					
	災害の状況			令和〇〇年9月1日午後10時30分頃、隣家から出火し、強風のため類焼した。家屋の一部を焼損、家財は一部焼損、水浸した。					
の部	(各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)								
別居被扶養者の住居平面図	(各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)								
	住所 〒 ..... 被扶養者の氏名 ..... 加入者との続柄 .....								

私学事業団で認定されている被扶養者の有無を記入してください。

修理費用ではなく、上記家屋の時価に占める損害部分に相当する金額を記入してください。

具体的に詳しく(風害・水害・地震の場合は損害の程度が判別しにくい場合、より詳しく)記入してください。記入しきれない場合は別紙(用紙自由)に記入して添付してください。

被扶養者が別居している場合は、加入者及び別居の被扶養者それぞれの住居・家財を合算したものに對する損害になりますので、洩れなく記入してください。

風害などの場合、洩れた部分を除き壊れた部分のみ斜線(朱記)で示してください。

共済運営規則様式第十四号(第二十一条・第二十三条関係)

## 家財の部（右面）

### ■記入上の注意

1. 損害を受けなかった家財(品物)についても必ず記入してください。(全ての家財)
2. 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格で記入してください。
3. 加入者及び被扶養者が所持している家財が対象となります。
4. 品目が多くて記入しきれないときは、別紙(用紙自由)に記入して添付してください。

	品名	総数量	時価	被害数量	損害額	備考 (全焼・半焼・補修等の説明)	
			円		円		
家財の部	寝具	3	75,000	3	75,000	全焼	
	客用テーブル	1	30,000	1	30,000	//	
	靴	40	400,000	40	400,000	//	
	ゴルフセット	1	200,000	1	200,000	//	
	エアコン	6	800,000	2	200,000	一部焼損 修理不能	
	タンス	3	150,000	1	50,000	// //	
	ステレオ・オーディオ	2	150,000	2	50,000	// //	
	洋服	100	1,400,000	25	300,000	// //	
	机	3	130,000	1	20,000	// //	
	テレビ	3	500,000	1	200,000	一部水損 //	
	ビデオ	2	160,000	1	80,000	// //	
	サイドボード	1	120,000	1	120,000	水損 //	
	応接セット	1	200,000	1	200,000	// //	
	ビデオラック	2	90,000	1	50,000	// //	
	ベッド	2	250,000			損害なし	
	本棚	2	125,000			//	
	書籍	250	390,000			//	
	ダイニングテーブルセット	1	100,000			//	
	食器棚	1	150,000			//	
	食器一式		100,000			//	
台所用品一式		150,000			//		
冷蔵庫		200,000			//		
洗たく機		70,000			//		
そうじ機		50,000			//		
電子レンジ		85,000			//		
計			6,075,000		1,975,000		
浸水状況	床上浸水	土砂流入の程度		床上浸水期間		最高水位を示した日	
	cm	cm	日間	時間	5 令	年	月
上記のとおり事実と相違ないことを報告します。							
令和〇〇年		9月10日	(フリガナ)	キタムラ	アキラ		
			加入者氏名	北村 彰			
上記の報告は、事実と相違ないものと認めます。							
令和〇〇年		9月15日	学校法人等名	学校法人 稲毛大学			
			代表者名	理事長 宮川博史			

備考欄に修理の可否などを必ず記入してください。

損害を受けなかった家財についても必ず記入してください。

### 記入上の注意

- 1 被扶養者が別居している場合は、加入者及び被扶養者の住居・家財をそれぞれ別々に評価してください。
- 2 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格を記入してください。
- 3 家財は損害を受けなかったものもすべて記入してください。
- 4 加入者及び被扶養者が所有している家財が対象となります。なお、加入者が被扶養者以外の者と所有している家財があれば、備考欄にその旨を記入してください。